

先進地から学ぶ

議会運営委員会 研修報告

日程 7月20日から21日
研修先 福岡県糟屋郡新宮町

議会報告会を開催

新宮町は福岡県の北西部北九州市と福岡の間にあり、博多駅から約30分の所に位置し、面積は18・91km²、人口は約2万4600人で、原生林の北限として国の特別記念物に指定されたくすの木が自生している。議員定数についてアンケート調査、分析、区長、農区町会から意見書を受け、審議の結果次回の選挙から現在の16名を12名にする事に決定した。



議員研修（川崎町議会）

又議会改革の一環として議員全員が3班に分かれて各地区において3月議会における22年度審議の当初予算や各常任委員会の所管業務の報告を行い、その後質問を受けたとの事、参加した人の意見要望では、議会報告会を定例化してほしい。町民の声を直接聞いてもらって良かった、議会の活動内容が理解できた、専門用語を極力分かりやすい表現で説明してほしい

い等の要望があったそうである。

又日曜議会を3回行ったが周知が足りなかった事もあるが、傍聴者は少なかったそうである。

基本条例を制定

研修先 福岡県田川郡川崎町

人口 1万9600人
面積 36・12km²、昭和30年代石炭産業で栄えその後農業と観光に力を入れている。川崎町議会

は条例制定に向けて調査研究を行い、議会改革特別委員会を設置し諮問を行った。委員会で審議を重ね、議員定数の削減、閉会中の議員研修、議会住民団体懇談会、日曜議会の開催及びインターネットによる議会放映システムの導入、ホームページの開設を決めた。目標とされていた議会基本条例は6月議会で可決され、7月1日から施行されている。

★（議会基本条例について）

第1条に目的地方分権化と、地方自治の時代に応じた町民の身近な議会及び、議会活動の活性化と充実の為、基本事項を定める。第2条に第1条の目的を達成する為議会の会期を通年とする。

会期を1年とする事により、議会の多様な運営や緊急時の対応など必要な時に、いつでも議会活動が行えるため、専決処分が少なくなると考えられるとの事である。

大津町選挙管理委員会委員

任期：平成22年10月6日～平成26年10月5日

職名	氏名	住所
委員	西岡 友子	大津町大字室
	佐藤 建二	大津町大字杉水
	紫藤 利弘	大津町大字錦野
	中村 和人	大津町大字室
補充委員	鶴田 夏代	大津町大字瀬田
	鈴木 信次	大津町大字真木
	清水 正一	大津町大字大津
	山東 繁幸	大津町大字大津

新 大津町固定資産評価審査委員

氏名 杉水 英治
(すぎみずえいじ)

住所 大津町大字室

(敬称略)